

分野③：産業・観光・歴史文化

施策 4：歴史文化遺産の保全・活用

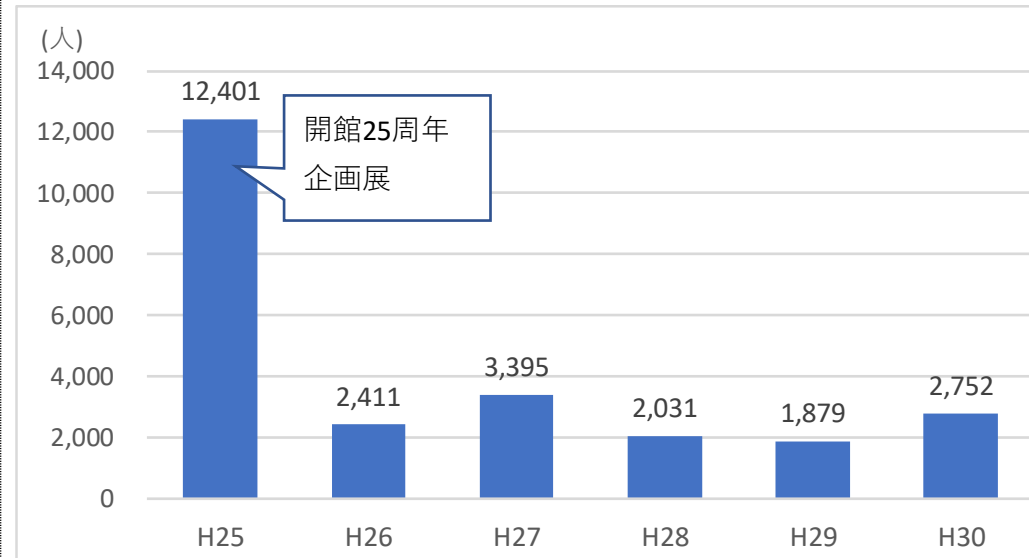
施策目標

地域における歴史文化遺産の魅力が地域で共有され、協働して保存・活用・整備に取り組んでいます。

現状・課題

市内には指定文化財をはじめとする多くの歴史的遺産があります。また、市内で伝えられている歴史・民俗資料や伝統行事・祭礼なども、先人から受け継いできた身近な歴史文化遺産です。
 地域の魅力ある歴史や文化を再発見し、次代に伝えていくことは、地域への誇りや愛着を育みます。一方で、時代や社会構造の変化に伴い、貴重な史料の散逸や後継者不足等に伴い保護・継承が困難となりつつあります。
 地域に残る歴史遺産に視点を据え、野洲市の歴史文化に対する市民の関心・理解を深めるとともに、文化財をはじめとする歴史的遺産・市民遺産の保存・修理・活用を進め、次代にしっかりと継承していく必要があります。
 また、わかりやすく興味関心を持てる展示や魅力的な企画等を通じて文化財の公開・活用を図り、観光に生かす取組を展開していく必要があります。

■ 博物館企画展入場者数



(資料) 野洲市

取組方針

主な取組

- ① 歴史文化遺産の保護・継承・育成
 指定文化財や史跡の保存・修理に努めるほか、民俗資料や、郷土の歴史・伝統行事について、その調査や保存・継承・育成に関する取組みを支援します。
- ② 歴史文化遺産の魅力の発信
 文化財や歴史遺産について、市民が重要性を認識し、地域資源として活用していけるよう、魅力や情報の発信を行います。
- ③ 他分野との連携による歴史的遺産の活用促進
 観光・教育・まちづくり等、他分野と連携した、新しい歴史文化遺産の活用方法を検討し、展開します。

指定文化財や史跡の修理や保存、地域に伝わる歴史・民俗資料の収集・保存、地域における調査依頼等への対応、後継者育成支援、等
 歴史民俗博物館における企画展や体験学習等による歴史文化遺産の魅力発信、等
 史跡永原御殿跡の保存・活用・整備、歴史ツーリズム等観光分野との連携促進、等

指標

関連する市の計画

指標	現状値	目標値 (5年後)
① 歴史民俗博物館入館者数	10,604 人	11,664 人
② 国・県・市指定文化財件数	140 件	144 件

(指標のそのものや現状値、目標値等の解説)
 ①入館者数の1割増を目指す。
 ②調査を進め新たに4件の文化財指定を目指す。

■ 野洲市教育振興基本計画